

明会を開催したが、自分の土地を使えなかった不足渡しの地権者に対して説明をしていない。今からでも遅くないので、説明責任を果たすべきではないか。

答 現在、各地権者に通知書を送付しており、問い合わせ等には個別に対応している。

喚田孝博（自民党市議員）

**蒲南土地区画整理事業
路線価見直しの影響は**

問 路線価見直しによる清算金の徴収・交付はどのようになるか。

答 過渡しによる徴収が28件、9436万5千円。交付は不足渡しによるもの



が12件、5609万9千円、換地不交付によるものが1237万5千円で、合計6847万4千円となる。

問 地権者への説明の時期は適切だったのか。

答 地権者の負担が大きくなるので、路線価見直しをせずに事業を完了させることを模索してきた。また、区画整理事業は実際に事業が終盤にならないと清算金額が定まらず、説明ができなかった。このため、路線価見直しをせずに事業を完了させることができないと判明した時点で、説明会を開催した。

問 過渡し部分を保留地に設定するなどの激変緩和措置ができないか。

答 内部での検討、顧問弁護士との協議などを進めてきたが、有効な手段はないと考えている。過渡し部分の保留地設定については、県に確認をしたい。

消防団の充実・強化を

問 機能別団員・分団制度の創設への考えは。



答 少子化の進展やサラリーマン団員の増加により、大幅な定数割れが起きる可能性があるため、具体的に検討していきたい。

尾崎広道（自由クラブ）

**公共施設マネジメント
について**

問 余裕教室のある学校等の多目的利用の考えは。

答 学校に子育て支援機能、高齢者向け機能、多世代交流機能、地域自治機能を集約し、多様な活動を行える交流拠点となる施設を整備し、コミュニティの維持・活性化を図ることを基

本的な考え方としている。

問 公民館等の地域利用型施設を縮減した場合、その地区へ補助金を交付するという方法はどうか。

答 縮減されることになったコストの一部は、新たなニーズへの対応や魅力ある街づくりにつながる施策に活用したい。

**子どもへの緊急食糧援助
について**

問 夏休み期間中に支援をした結果を伺う。

答 10件の家庭に食糧支援を実施した。夏休み期間中の子どもたちの欠食状態を少しでも防げたのではないかと考えている。

**子育てフェスティバル
について**

問 本事業の目的と入場者数を伺う。

答 子ども・子育て支援施策を広くお知らせし、子育て世代のニーズ把握、潜在保育士等の発掘、保育園・幼稚園・こども園の紹介を目的に開催している。



賑わった子育てフェスティバル

今年度は8月に開催し、50人来場いただいた。

鎌田篤司（自民党市議員）

介護保険者統合への対応は

問 平成30年4月から介護保険者が東三河広域連合に統合されるが、本市にとってのメリットを伺う。

答 居住する市町村のみに利用が限定されていた地域密着型サービスが東三河8市町村全てで利用できるようになる。また、介護認定までの期間が短縮でき